

令和7年度

津乃峰小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学び合い、認め合い、共に高め合う児童の育成
- 主体的な学びで確かな学力につなげる授業改善の在り方

校長

森下 稲子

学力向上推進員

森本 尚美

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○落ち着いて学校生活をおくり、学習のきまりを守って課題に取り組むことができる。 ●語彙が少なく、文章や問題を読み取る力の個人差が大きい。	・読書を楽しみ、語彙を増やしたり要点を押さえて文章や問題を読み取ったりすることができる。 ・教科の基礎基本が身に付いている。	・読み聞かせを行ったり、読書の時間を確保したりする等読書環境を整え、読書の習慣が身に付くよう指導する。 ・体験を通して身に付いた語彙力を活用できるような場を設定する。 ・文章を読む（音読）時間を確保し、しっかりと行う。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○自分の意見を表現しようと試みる強い思いを持っている。 ●発問の意図を読み取るのが苦手である。	・自分の思いや意見をしっかりともち、相手に伝えることができる。 ・互いの意見を出し合い、他者の考えを認め合うことで、みんなでよりよいものを生み出そうとすることができる。	・書く活動を充実させ、例文を提示し、自分の考えを明確に表現できるようにする。 ・互いに意見を伝え合い、考えを深められるような話し合い活動の充実を図る。 ・タブレットやホワイトボードを効果的に活用し、互いの意見を共有したり表現したりする場面を増やす。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○課題に対し、素直に取り組むことができる。 ●学習内容や活動状況に合わせて、見通しをもって、主体的に取り組むことが難しい。	・主体性をもって、各教科の学習や家庭学習に取り組むことができる。 ・自ら課題意識をもち、解決しようとする態度が身に付いている。	・学習のめあてを明確にすることで見通しをもてるようにするとともに、次時の課題を示すことで意欲につなげる。 ・子ども新聞を活用する時間を設定し、感想を書かせることで視野を広げたり、学習への興味・関心を高められるようにする。 ・自主学習のやり方を具体的に紹介したり、よい例を示したりすることで意欲を高める。			